

整理番号	47-3	事務事業名	スポーツ大会出場費助成事業	作成部署	生涯学習部体育課	電話	内線890	
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	山内 平一郎	課長職名	松尾 定治	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	S61	根拠法令等	スポーツ大会出場費助成規則					
〃 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	スポーツ大会出場費の助成を行なうことにより、出場者の経済的な負担を軽減し、よりレベルの高い大会に出場する機会が増加し市民のスポーツ活動の振興が図られる。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	豊かな心と個性ある文化をはぐむまち	(第4章)
	節	スポーツとレクリエーション	(第5節)
	施策	生涯スポーツ・レクリエーション活動の振興	(第1施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	全道・全国規模のスポーツ大会に出場する市民	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	全道・全国スポーツ大会に選手又は役員として出場する費用(交通費及び宿泊費)の一部を助成することにより、市民の自発的なスポーツ活動の振興を図ることを目的とする。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等)の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	過去5年実績(H12~16) 全道大会 90件 662名 全国大会 79件 209名 対象経費～交通費及び宿泊費 限度額～全国大会(道外開催)24,000円(道内開催)20,000円、全道大会5,000円
		17年度	助成見込み 全道大会 80名 全国大会 40名

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財	1,334	1,710	1,360	1,360
	一般財源				
	合計	1,334	1,710	1,360	1,360
人件費(概算)	人数(年間)	0.04	0.06	0.06	0.06
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	360	540	540	540
総事業費 +		1,694	2,250	1,900	1,900

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	全道大会出場費助成件数	23件	20件	20件	20件
	全国大会出場費助成件数	12件	24件	20件	20件
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	全道大会出場費助成人数	197人	143人	80人	80人
	全国大会出場費助成人数	24人	46人	40人	40人
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	大会出場者1人あたりコスト	7,665円	11,905円	15,833円	15,833円
	(総事業費/大会出場費助成人数)				

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	管内においても大会出場費の助成を行なっている市町村が多いが、現在の厳しい経済情勢の中で助成額を減額するなど制度の見直しを実施した市町村もあり、本市においても限度額など事業全体を見直さなければならない時期にきている。
---------------------------------	---

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありますか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	市民に対する助成であり、他の機関が助成金を支出するのは現実的に難しく、市で支出するのは妥当と考えられる。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	申請件数は年間30件を超え、事業の継続は必要と考えるが、経済情勢やスポーツ大会の開催方法の変化から制度の見直しが必要になっている。	限度額や助成対象者などの見直しを行なう。
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	全道・全国大会出場が決まってからの申請行為であり、手段は妥当と考えるが、体育協会等に一括して支出し実施することは可能である。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	助成の対象は交通費と宿泊費に限られ、限度額を設定している。受益者負担という考えではなく、限度額の変更で検討していく。	限度額などの見直しを行なう。

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	全道・全国大会出場者は、年度により多少のばらつきはあるものの増加傾向にあり、スポーツ活動の振興が図られていると考える。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	事務処理としては、助成金の審査・支出・報告のみであり十分効率的であると考え、支出方法を変更するなど申請手続きのさらなる簡素化を図る。	交通費・宿泊費の助成から大会出場奨励金へ転換する。

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法等を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	社会経済情勢の変化と申請件数の増加、大会開催方法の多様化から、限度額・助成対象者などの見直しと、支出方法の変更による簡素化など制度を見直した上で、継続していく。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	厳しい財政状況や対象者の増加に対応し、限度額・対象者の見直しなどを検討していく。なお、現行の出場費(交通費、宿泊費)助成から大会出場奨励金への転換についても、同時に検討する。